

改 正 後	現 行																																																																										
別 紙  地質、土質調査業務市場単価	別 紙  地質、土質調査業務市場単価																																																																										
1 [略]	1 [略]																																																																										
2 直接調査費	2 直接調査費																																																																										
2-1~2-2 [略]	2-1~2-2 [略]																																																																										
2-3 サウンディング及び原位置試験	2-3 サウンディング及び原位置試験																																																																										
(1)~(2) [略]	(1)~(2) [略]																																																																										
(3) 市場単価	(3) 市場単価																																																																										
1) 適用範囲	1) 適用範囲																																																																										
サウンディング及び原位置試験のうち、標準貫入試験、 <u>孔内載荷試験(プレッシャーメータ試験・ポアホールジャッキ試験)</u> 、現場透水試験、スウェーデン式サウンディング、機械式コーン(オランダ式二重管コーン)貫入試験、ポータブルコーン貫入試験に適用する。	サウンディング及び原位置試験のうち、標準貫入試験、 <u>プレッシャーメータ試験(孔内水平載荷試験)</u> 、現場透水試験、スウェーデン式サウンディング、機械式コーン(オランダ式二重管コーン)貫入試験、ポータブルコーン貫入試験に適用する。																																																																										
2) 適用に当たっての留意事項	2) 適用に当たっての留意事項																																																																										
① <u>孔内載荷試験(プレッシャーメータ試験・ポアホールジャッキ試験)</u> における普通載荷及び中圧載荷は、測定器がプレシオメーター、LLT及びKKTを標準とする。	① <u>プレッシャーメータ試験(孔内水平載荷試験)</u> における普通載荷及び中圧載荷は、測定器がプレシオメーター、LLT及びKKTを標準とする。																																																																										
② サウンディング及び原位置試験に伴う機材、雑品はこれを含むものとする。	② サウンディング及び原位置試験に伴う機材、雑品はこれを含むものとする。																																																																										
③ 現場透水試験は、資料整理(内業)を含むものとする。	③ 現場透水試験は、資料整理(内業)を含むものとする。																																																																										
④ 現場透水試験は、孔内洗浄を含むものとする。	④ 現場透水試験は、孔内洗浄を含むものとする。																																																																										
(4) 市場単価の内訳	(4) 市場単価の内訳																																																																										
1) [略]	1) [略]																																																																										
2) 市場単価の区分	2) 市場単価の区分																																																																										
(表2-16) サウンディング及び原位置試験	(表2-16) サウンディング及び原位置試験																																																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">標 準 貫 入 試 験</td> <td>粘性土・シルト</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>砂・砂質土</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>礫混じり土砂</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>玉石混じり土砂</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>固結シルト・固結粘土</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>軟岩</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td rowspan="3"><u>孔 内 載 荷 試 験</u> <u>(プレッシャーメータ試験・</u> <u>ポアホールジャッキ試験)</u></td> <td>普通載荷(2.5MN/m<sup>2</sup>以下) GL-50m以内</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>中圧載荷(2.5~10MN/m<sup>2</sup>) GL-50m以内</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>高圧載荷(10~20MN/m<sup>2</sup>) GL-50m以内</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">場 透 水 試 験</td> <td>オーガー法 GL-10m以内</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ケーシング法 GL-10m以内</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>一重管式 GL-20m以内</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>二重管式 GL-20m以内</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>揚水法 GL-20m以内</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ス ウ ェ ー デ ン 式 サ ウ ン デ ィ ン グ</td> <td>GL-10m以内 N値4以内</td> <td>m</td> </tr> </tbody> </table>	種 別	規 格	単 位	標 準 貫 入 試 験	粘性土・シルト	回	砂・砂質土	〃	礫混じり土砂	〃	玉石混じり土砂	〃	固結シルト・固結粘土	〃	軟岩	〃	<u>孔 内 載 荷 試 験</u> <u>(プレッシャーメータ試験・</u> <u>ポアホールジャッキ試験)</u>	普通載荷(2.5MN/m <sup>2</sup> 以下) GL-50m以内	〃	中圧載荷(2.5~10MN/m <sup>2</sup> ) GL-50m以内	〃	高圧載荷(10~20MN/m <sup>2</sup> ) GL-50m以内	〃	場 透 水 試 験	オーガー法 GL-10m以内	〃	ケーシング法 GL-10m以内	〃	一重管式 GL-20m以内	〃	二重管式 GL-20m以内	〃	揚水法 GL-20m以内	〃	ス ウ ェ ー デ ン 式 サ ウ ン デ ィ ン グ	GL-10m以内 N値4以内	m	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">標 準 貫 入 試 験</td> <td>粘性土・シルト</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>砂・砂質土</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>礫混じり土砂</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>玉石混じり土砂</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>固結シルト・固結粘土</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>軟岩</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td rowspan="3"><u>プレッシャーメータ試験</u> <u>(孔内水平載荷試験)</u></td> <td>普通載荷(2.5MN/m<sup>2</sup>以下) GL-50m以内</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>中圧載荷(2.5~10MN/m<sup>2</sup>) GL-50m以内</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>高圧載荷(10~20MN/m<sup>2</sup>) GL-50m以内</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">現 場 透 水 試 験</td> <td>オーガー法 GL-10m以内</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ケーシング法 GL-10m以内</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>一重管式 GL-20m以内</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>二重管式 GL-20m以内</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>揚水法 GL-20m以内</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ス ウ ェ ー デ ン 式 サ ウ ン デ ィ ン グ</td> <td>GL-10m以内 N値4以内</td> <td>m</td> </tr> </tbody> </table>	種 別	規 格	単 位	標 準 貫 入 試 験	粘性土・シルト	回	砂・砂質土	〃	礫混じり土砂	〃	玉石混じり土砂	〃	固結シルト・固結粘土	〃	軟岩	〃	<u>プレッシャーメータ試験</u> <u>(孔内水平載荷試験)</u>	普通載荷(2.5MN/m <sup>2</sup> 以下) GL-50m以内	〃	中圧載荷(2.5~10MN/m <sup>2</sup> ) GL-50m以内	〃	高圧載荷(10~20MN/m <sup>2</sup> ) GL-50m以内	〃	現 場 透 水 試 験	オーガー法 GL-10m以内	〃	ケーシング法 GL-10m以内	〃	一重管式 GL-20m以内	〃	二重管式 GL-20m以内	〃	揚水法 GL-20m以内	〃	ス ウ ェ ー デ ン 式 サ ウ ン デ ィ ン グ	GL-10m以内 N値4以内	m
種 別	規 格	単 位																																																																									
標 準 貫 入 試 験	粘性土・シルト	回																																																																									
	砂・砂質土	〃																																																																									
	礫混じり土砂	〃																																																																									
	玉石混じり土砂	〃																																																																									
	固結シルト・固結粘土	〃																																																																									
	軟岩	〃																																																																									
<u>孔 内 載 荷 試 験</u> <u>(プレッシャーメータ試験・</u> <u>ポアホールジャッキ試験)</u>	普通載荷(2.5MN/m <sup>2</sup> 以下) GL-50m以内	〃																																																																									
	中圧載荷(2.5~10MN/m <sup>2</sup> ) GL-50m以内	〃																																																																									
	高圧載荷(10~20MN/m <sup>2</sup> ) GL-50m以内	〃																																																																									
場 透 水 試 験	オーガー法 GL-10m以内	〃																																																																									
	ケーシング法 GL-10m以内	〃																																																																									
	一重管式 GL-20m以内	〃																																																																									
	二重管式 GL-20m以内	〃																																																																									
	揚水法 GL-20m以内	〃																																																																									
ス ウ ェ ー デ ン 式 サ ウ ン デ ィ ン グ	GL-10m以内 N値4以内	m																																																																									
種 別	規 格	単 位																																																																									
標 準 貫 入 試 験	粘性土・シルト	回																																																																									
	砂・砂質土	〃																																																																									
	礫混じり土砂	〃																																																																									
	玉石混じり土砂	〃																																																																									
	固結シルト・固結粘土	〃																																																																									
	軟岩	〃																																																																									
<u>プレッシャーメータ試験</u> <u>(孔内水平載荷試験)</u>	普通載荷(2.5MN/m <sup>2</sup> 以下) GL-50m以内	〃																																																																									
	中圧載荷(2.5~10MN/m <sup>2</sup> ) GL-50m以内	〃																																																																									
	高圧載荷(10~20MN/m <sup>2</sup> ) GL-50m以内	〃																																																																									
現 場 透 水 試 験	オーガー法 GL-10m以内	〃																																																																									
	ケーシング法 GL-10m以内	〃																																																																									
	一重管式 GL-20m以内	〃																																																																									
	二重管式 GL-20m以内	〃																																																																									
	揚水法 GL-20m以内	〃																																																																									
ス ウ ェ ー デ ン 式 サ ウ ン デ ィ ン グ	GL-10m以内 N値4以内	m																																																																									

改正後

機械式コーン (オランダ式二重管コーン)貫入試験	20kN	GL-30m以内	〃
	100kN	GL-30m以内	〃
ポータブルコーン 貫入試験	単管式	GL-5m以内	〃
	二重管式	GL-5m以内	〃

(注) 上記以外は別途計上する。

3) ~ 4) [略]

(5) 日当たり作業量

日当たり作業量は、次表を標準とする。

(表2-18) 日当たり作業量

種別・規格	単位	日当たり作業量
標準貫入試験	粘性土・シルト	回 12.0
	砂・砂質土	〃 10.0
	礫混じり土砂	〃 8.0
	玉石混じり土砂	〃 7.0
	固結シルト・固結粘土	〃 7.0
	軟岩	〃 7.0
<u>孔内載荷試験</u> ( <u>プレッシャーメータ試験</u> ・ <u>ポアホールジャッキ試験</u> )	普通載荷 (2.5MN/m <sup>2</sup> 以下) GL-50m以内	〃 3.0
	中圧載荷 (2.5~10MN/m <sup>2</sup> ) GL-50m以内	〃 2.0
	高圧載荷 (10~20MN/m <sup>2</sup> ) GL-50m以内	〃 2.0
現場透水試験	オーガー法 GL-10m以内	〃 2.0
	ケーシング法 GL-10m以内	〃 2.0
	一重管式 GL-20m以内	〃 1.0
	二重管式 GL-20m以内	〃 1.0
	揚水法 GL-20m以内	〃 1.0
スウェーデン式 サウンディング	GL-10m以内N値4以内	m 22.0
機械式コーン (オランダ式二重管コーン) 貫入試験	20kN GL-30m以内	〃 12.0
	100kN GL-30m以内	〃 11.0
ポータブルコーン 貫入試験	単管式 GL-5m以内	〃 25.0
	二重管式 GL-5m以内	〃 15.0

(注) 工期算定等にあたっては、作業条件による補正は行わない。

3 間接調査費

3-1 現場内小運搬

(1) ~ (3) [略]

現行

機械式コーン (オランダ式二重管コーン)貫入試験	20kN	GL-30m以内	〃
	100kN	GL-30m以内	〃
ポータブルコーン 貫入試験	単管式	GL-5m以内	〃
	二重管式	GL-5m以内	〃

(注) 上記以外は別途計上する。

3) ~ 4) [略]

(5) 日当たり作業量

日当たり作業量は、次表を標準とする。

(表2-18) 日当たり作業量

種別・規格	単位	日当たり作業量
標準貫入試験	粘性土・シルト	回 12.0
	砂・砂質土	〃 10.0
	礫混じり土砂	〃 8.0
	玉石混じり土砂	〃 7.0
	固結シルト・固結粘土	〃 7.0
	軟岩	〃 7.0
<u>プレッシャーメータ試験</u> ( <u>孔内水平載荷試験</u> )	普通載荷 (2.5MN/m <sup>2</sup> 以下) GL-50m以内	〃 3.0
	中圧載荷 (2.5~10MN/m <sup>2</sup> ) GL-50m以内	〃 2.0
	高圧載荷 (10~20MN/m <sup>2</sup> ) GL-50m以内	〃 2.0
現場透水試験	オーガー法 GL-10m以内	〃 2.0
	ケーシング法 GL-10m以内	〃 2.0
	一重管式 GL-20m以内	〃 1.0
	二重管式 GL-20m以内	〃 1.0
	揚水法 GL-20m以内	〃 1.0
スウェーデン式 サウンディング	GL-10m以内N値4以内	m 22.0
機械式コーン (オランダ式二重管コーン) 貫入試験	20kN GL-30m以内	〃 12.0
	100kN GL-30m以内	〃 11.0
ポータブルコーン 貫入試験	単管式 GL-5m以内	〃 25.0
	二重管式 GL-5m以内	〃 15.0

(注) 工期算定等にあたっては、作業条件による補正は行わない。

3 間接調査費

3-1 現場内小運搬

(1) ~ (3) [略]

改正後

現行

(4) 市場単価の内訳

1) ~ 3) [略]

4) 間接調査費の算出

(人肩運搬、特装車運搬)

間接調査費=設計単価×運搬総重量

設計単価=標準の市場単価(換算距離別)

(モノレール運搬、索道運搬)

間接調査費=設計単価(運搬)×運搬総重量+設計単価(架設・撤去)

+設計単価(機械器具損料)×供用日数

設計単価=標準の市場単価 ただし、機械器具損料は実情に即した価格を別途計上する。

供用日数=架設日数+調査・試験等作業日数+撤去日数

※供用日数の算定に当たっては、年末年始、夏季休暇等の撤去不能期間を考慮する。

(5) [略]

3-2 足場仮設

(1) ~ (5) [略]

(参考) 足場材料等の標準重量(仮囲い以外は平坦地足場の重量分を差し引いた重量)

区 分	標準重量
湿地足場	950 kg
傾斜地足場	900 kg
水上足場(水深1m以下)	1,500 kg
水上足場(水深3m以下)	1,950 kg
環境保全(仮囲い)	250 kg

(注) (1) 傾斜地足場の重量は、垂直ボーリングで深度80m以下、地形傾斜15°~30°未満を標準としており、これ以外の場合は別途計上する。

(2) モノレール運搬、索道運搬を行う場合の機材は別途計上する。

(3) 配管給水を行う場合の機材は別途計上する。

(6) [略]

3-3 [略]

4 解析等調査業務

(1) ~ (2) [略]

(3) 単価の構成と範囲

1) ~ 3) [略]

4) 総合解析取りまとめ

① 業務の範囲

ア 調査地周辺の地形・地質の検討

イ 地質調査結果に基づく土質定数の設定

ウ 地盤の工学的性質の検討と支持地盤の設定

エ 地盤の透水性の検討(現場透水試験や粒度試験等が実施されている場合)

オ 調査結果に基づく基礎形式の検討(具体的な計算を行うものでなく、基礎形式の適用に関する一般的な比較検討)

(4) 市場単価の内訳

1) ~ 3) [略]

4) 間接調査費の算出

(人肩運搬、特装車運搬)

間接調査費=設計単価×運搬総重量

設計単価=標準の市場単価(換算距離別)

(モノレール運搬、索道運搬)

間接調査費=設計単価(運搬)×運搬総重量+設計単価(架設・撤去)

+設計単価(機械器具損料)×供用日数

設計単価=標準の市場単価 ただし、機械器具損料は実情に即した価格を別途計上する。

供用日数=架設日数+調査・試験等作業日数+撤去日数

※架設日数は、年末年始、夏季休暇等の撤去不能期間を考慮する。

(5) [略]

3-2 足場仮設

(1) ~ (5) [略]

(参考) 足場材料等の標準重量(仮囲い以外は平坦地足場の重量分を差し引いた重量)

区 分	標準重量
湿地足場	950 kg
傾斜地足場	900 kg
水上足場(水深1m未満)	1,500 kg
水上足場(水深1m以上、3m未満)	1,950 kg
環境保全(仮囲い)	250 kg

(注) (1) 傾斜地足場の重量は、垂直ボーリングで深度80m以下、地形傾斜15°~30°未満を標準としており、これ以外の場合は別途計上する。

(2) モノレール運搬、索道運搬を行う場合の機材は別途計上する。

(3) 配管給水を行う場合の機材は別途計上する。

(6) [略]

3-3 [略]

4 解析等調査業務

(1) ~ (2) [略]

(3) 単価の構成と範囲

1) ~ 3) [略]

4) 総合解析取りまとめ

① 業務の範囲

ア 調査地周辺の地形・地質の検討

イ 地質調査結果に基づく土質定数の設定

ウ 地盤の工学的性質の検討と支持地盤の設定

エ 地盤の透水性の検討(現場透水試験や粒度試験等が実施されている場合)

オ 調査結果に基づく基礎形式の検討(具体的な計算を行うものでなく、基礎形式の適用に関する一般的な比較検討)

改正後	現行
<p>カ 設計・施工上の留意点の検討（特に盛土や切土を行う場合）</p> <p>キ 報告書の執筆</p> <p>ただし、<u>次の（ア）～（ウ）のような業務は含まない。</u></p> <p><u>（ア）</u> 杭の支持力計算、圧密沈下（沈下量及び沈下時間）計算、応力分布、地すべり計算等の具体的な計算業務</p> <p><u>（イ）</u> 高度な土質・地質定数の計算と検討、軟弱地盤に対する対策工法の検討、安定解析、液状化解析、特定の基礎工法や構造物に関する総合的検討</p> <p><u>（ウ）</u> <u>地質図の作成（別途、地質、地表踏査が必要なもの）</u></p> <p>ク 電子成果品の作成</p> <p>② 単価は、コピー代等を含む。</p> <p>③ 本単価は内業単価である。</p> <p>5) [略]</p> <p>(4) [略]</p> <p>(5) 単価の補正係数</p> <p>1) [略]</p> <p>2) 試験種目数別の補正係数（総合解析取りまとめ）</p> <p>現地で行われる調査、室内試験等を含む調査の種目数は、0～3種を標準とし、これを超える場合には、下表の率で補正する。</p> <p>なお、試験種目は、サンプリング、標準貫入試験、動的円錐貫入試験、<u>孔内載荷試験（プレッシャーメータ試験・ボアホールジャッキ試験）</u>、現場透水試験、岩盤透水試験、間隙水圧試験、スウェーデン式サウンディング、機械式コーン（オランダ式二重管コーン）貫入試験、ポータブルコーン貫入試験、三成分コーン試験、電気式静的コーン貫入試験、オートマチックラムサウンディング、物理的性質試験、化学的性質試験、力学的性質試験、現場単位体積重量試験、平板載荷試験、現場CBR試験等の区分とする。</p> <p>[以下略]</p> <p>(6) [略]</p>	<p>カ 設計・施工上の留意点の検討（特に盛土や切土を行う場合）</p> <p>キ 報告書の執筆</p> <p>ただし、杭の支持力計算、圧密沈下（沈下量及び沈下時間）計算、応力分布、地すべり計算等の具体的な計算業務 <u>及び</u>、高度な土質・地質定数の計算と検討、軟弱地盤に対する対策工法の検討、安定解析、液状化解析、特定の基礎工法や構造物に関する総合的検討 <u>の業務は含まない。</u></p> <p>ク 電子成果品の作成</p> <p>② 単価は、コピー代等を含む。</p> <p>③ 本単価は内業単価である。</p> <p>5) [略]</p> <p>(4) [略]</p> <p>(5) 単価の補正係数</p> <p>1) [略]</p> <p>2) 試験種目数別の補正係数（総合解析取りまとめ）</p> <p>現地で行われる調査、室内試験等を含む調査の種目数は、0～3種を標準とし、これを超える場合には、下表の率で補正する。</p> <p>なお、試験種目は、サンプリング、標準貫入試験、動的円錐貫入試験、<u>プレッシャーメータ試験（孔内水平載荷試験）</u>、現場透水試験、岩盤透水試験、間隙水圧試験、スウェーデン式サウンディング、機械式コーン（オランダ式二重管コーン）貫入試験、ポータブルコーン貫入試験、三成分コーン試験、電気式静的コーン貫入試験、オートマチックラムサウンディング、物理的性質試験、化学的性質試験、力学的性質試験、現場単位体積重量試験、平板載荷試験、現場CBR試験等の区分とする。</p> <p>[以下略]</p> <p>(6) [略]</p>
<p>5 施工管理費 [略]</p>	<p>5 施工管理費 [略]</p>

改 正 後	現 行																				
<p>別 紙</p> <p style="text-align: center;">測量業務標準歩掛</p> <p>1 一般事項</p> <p>1-1~1-3 [略]</p> <p>1-4 安全費の積算について</p> <p>安全費は、当該測量業務を遂行するために安全対策上必要な経費であり、現場 <u>状況</u> により、以下の(1)又は(2)により算出した額とする。なお、安全対策上必要となる経費とは、主に交通誘導員、熊対策ハンター、ハブ対策監視員及びこれに伴う機材等に係わるものをいう。</p> <p>(1) 交通誘導員等に係わる安全費を算出する業務は、主として現道上で連続的に行われ、且つ安全対策が必要となる場合を対象とし、当該地域の安全費率を用いて次式により算出する。</p> $\text{安全費} = \{(\text{直接測量費}) - (\text{往復経費}) - (\text{成果検定費等})\} \times (\text{安全費率})$ <p>(注) <u>1) 直接測量費は、安全費を含まない費用である。</u></p> <p><u>2) 往復経費とは、宿泊を伴う場合で積算上の基地から滞在地までの旅行等に要する旅費交通費及び旅行時間に係る直接人件費の費用である。</u></p> <p><u>3) 成果検定費等には登記手数料を含む。</u></p> <p>安全費率は、<u>表1-2</u>を標準とする。</p> <p>(表1-2)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">地域 場所</th> <th style="text-align: center;">大市街地</th> <th style="text-align: center;">市街地 (甲)</th> <th style="text-align: center;">市街地 (乙)・都市近郊</th> <th style="text-align: center;">その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">主として現道上</td> <td style="text-align: center;">4.0%</td> <td style="text-align: center;">3.5%</td> <td style="text-align: center;">3.0%</td> <td style="text-align: center;">2.5%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 地域が複数となる場合は、地域毎の区間 (距離) を重量とし、加重平均により率を <u>小数第1位 (小数第2位を四捨五入) まで</u> 算出する。</p> <p>(2) (1)によりがたい場合、<u>熊対策ハンター、ハブ対策監視員及びこれに伴う機材等に係わる安全費を算出する業務は、現場状況に応じて積上げ計算により算出する。</u></p>	地域 場所	大市街地	市街地 (甲)	市街地 (乙)・都市近郊	その他	主として現道上	4.0%	3.5%	3.0%	2.5%	<p>別 紙</p> <p style="text-align: center;">測量業務標準歩掛</p> <p>1 一般事項</p> <p>1-1~1-3 [略]</p> <p>1-4 安全費の積算について</p> <p>安全費は、当該測量業務を遂行するために安全対策上必要な経費であり、現場 <u>条件</u> により、以下の(1)又は(2)により算出した額とする。なお、安全対策上必要となる経費とは、主に交通誘導員、熊対策ハンター、ハブ対策監視員及びこれに伴う機材等に係わるものをいう。</p> <p>(1) 交通誘導員等に係わる安全費を算出する業務は、主として現道上で連続的に行われ、且つ安全対策が必要となる場合を対象とし、当該地域の安全費率を用いて次式により算出する。</p> $\text{安全費} = \{(\text{直接測量費}) - (\text{往復経費}) - (\text{成果検定費})\} \times (\text{安全費率})$ <p>(注) <u>1) 直接測量費は、安全費を含まない費用である。</u></p> <p><u>2) 往復経費とは、宿泊を伴う場合で積算上の基地から滞在地までの旅行等に要する旅費交通費及び旅行時間に係る直接人件費の費用である。</u></p> <p><u>[新規]</u></p> <p>安全費率は <u>次表</u> を標準とする。</p> <p>(表1-2)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">地域 場所</th> <th style="text-align: center;">大市街地</th> <th style="text-align: center;">市街地 (甲)</th> <th style="text-align: center;">市街地 (乙)・都市近郊</th> <th style="text-align: center;">その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">主として現道上</td> <td style="text-align: center;">4.0%</td> <td style="text-align: center;">3.5%</td> <td style="text-align: center;">3.0%</td> <td style="text-align: center;">2.5%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 地域が複数となる場合は、地域毎の区間 (距離) を重量とし、加重平均により率を算出する。</p> <p>(2) (1)によりがたい場合 <u>及び</u> 熊対策ハンター、ハブ対策監視員及びこれに伴う機材等に係わる安全費を算出する業務は、現場状況に応じて積上げ計算により算出する。</p>	地域 場所	大市街地	市街地 (甲)	市街地 (乙)・都市近郊	その他	主として現道上	4.0%	3.5%	3.0%	2.5%
地域 場所	大市街地	市街地 (甲)	市街地 (乙)・都市近郊	その他																	
主として現道上	4.0%	3.5%	3.0%	2.5%																	
地域 場所	大市街地	市街地 (甲)	市街地 (乙)・都市近郊	その他																	
主として現道上	4.0%	3.5%	3.0%	2.5%																	

改正後

現行

1-5 精度管理費の積算について

精度管理費は、当該測量項目の直接測量費のうち直接人件費及び機械経費の合計額に表 1-3 の精度管理費係数を乗じて算出する。

$$\text{精度管理費} = \{(\text{直接人件費}) + (\text{機械経費})\} \times (\text{精度管理費係数})$$

(表 1-3) 精度管理費係数表

測 量 作 業 種 別			精度管理費係数
基準点測量	基準点測量	1級基準点測量	[略]
		2級基準点測量	
		3級基準点測量	
		4級基準点測量	
基準点測量	水準測量	1級水準測量 <u>(レベル等による)</u>	[略]
		2級水準測量 <u>(レベル等による)</u>	
		3級水準測量 <u>(レベル等による)</u>	
		4級水準測量 <u>(レベル等による)</u>	
応用測量	路線測量	線形決定	[略]
		IP設置測量	
		中心線測量	
		縦断測量	
		横断測量	
地形測量	現地測量	[略]	

(注) (1)~(3) [略]

1-5 精度管理費の積算について

精度管理費は、当該測量項目の直接測量費のうち直接人件費及び機械経費の合計額に表 1-3 の精度管理費係数を乗じて算出する。

$$\text{精度管理費} = \{(\text{直接人件費}) + (\text{機械経費})\} \times (\text{精度管理費係数})$$

(表 1-3) 精度管理費係数表

測 量 作 業 種 別			精度管理費係数
基準点測量	基準点測量	1級基準点測量	[略]
		2級基準点測量	
		3級基準点測量	
		4級基準点測量	
基準点測量	水準測量	1級水準測量	[略]
		2級水準測量	
		3級水準測量	
		4級水準測量	
応用測量	路線測量	線形決定	[略]
		IP設置測量	
		中心線測量	
		縦断測量	
		横断測量	
地形測量	現地測量	[略]	

(注) (1)~(3) [略]

改正後

2 基準点測量

2-1 基準点測量

1級、2級、3級、4級基準点測量の観測作業に適用する。測量標の設置は地上埋設（上面舗装）及び3級、4級基準点設置による。

2-1-1 1級基準点測量

本歩掛の適用範囲は、新点 50 点以下とする。

標準作業量	新設点 5点	作業条件	平地、耕地
-------	--------	------	-------

直接人件費

作業区分	内外業別	編成(人)					所要日数(日)					延人員(人)					計
		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	
[略]	[略]	[略]					[略]					[略]					
		外業										[略]					
		内業										[略]					
		計										[略]					

機械経費、通信運搬費等、材料費

費目	直接人件費に対する割合	備考
機械経費	8.5%	
通信運搬費等	[略]	
材料費	2.5%	

(注) (1)~(3) [略]

(参考) 測量業務標準歩掛における各作業の直接人件費に対する機械経費、通信運搬費等、材料費の割合の構成を下表に示す。  
なお、下表に示す各資機材等の種類、数量は標準歩掛設定に用いた標準的なものである。

機械経費の構成				
名称	規格	単位	数量	摘要
[略]	[略]	[略]	[略]	[略]
通信運搬費等の構成				
項目	備考			
[略]				
材料費の構成				
品名	規格	単位	数量	摘要
[略]		[略]	[略]	[略]

現行

2 基準点測量

2-1 基準点測量

1級、2級、3級、4級基準点測量の観測作業に適用する。測量標の設置は地上埋設（上面舗装）及び3級、4級基準点設置による。

2-1-1 1級基準点測量

本歩掛の適用範囲は、新点 50 点以下とする。

標準作業量	新設点 5点	作業条件	平地、耕地
-------	--------	------	-------

直接人件費

作業区分	内外業別	編成(人)					所要日数(日)					延人員(人)					計
		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	
[略]	[略]	[略]					[略]					[略]					
		外業										[略]					
		内業										[略]					
		計										[略]					

機械経費、通信運搬費等、材料費

費目	直接人件費に対する割合	備考
機械経費	8.0%	
通信運搬費等	[略]	
材料費	3.0%	

(注) (1)~(3) [略]

(参考) 測量業務標準歩掛における各作業の直接人件費に対する機械経費、通信運搬費等、材料費の割合の構成を下表に示す。  
なお、下表に示す各資機材等の種類、数量は標準歩掛設定に用いた標準的なものである。

機械経費の構成				
名称	規格	単位	数量	摘要
[略]	[略]	[略]	[略]	[略]
通信運搬費等の構成				
項目	備考			
[略]				
材料費の構成				
品名	規格	単位	数量	摘要
[略]		[略]	[略]	[略]

改正後

2-1-2 2級基準点測量

本歩掛の適用範囲は、新点 35 点以下とする。

標準作業量	新設点 10 点	作業条件	平地、耕地
-------	----------	------	-------

直接人件費

作業区分	内外業別	編成 (人)					所要日数 (日)					延人員 (人)					計
		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	
[略]	[略]	[略]					[略]					[略]					
		外業										[略]					
		内業										[略]					
		計										[略]					

機械経費、通信運搬費等、材料費

費目	直接人件費に対する割合		備考
	伐採あり	伐採なし	
機械経費	8.0%	8.5%	
通信運搬費等	[略]	[略]	
材料費	2.0%	[略]	

(注) (1)~(4) [略]

(参考) 測量業務標準歩掛における各作業の直接人件費に対する機械経費、通信運搬費等、材料費の割合の構成を下表に示す。  
 なお、下表に示す各資機材等の種類、数量は標準歩掛設定に用いた標準的なものである。

機械経費の構成				
名称	規格	単位	数量	摘要
[略]	[略]	[略]	[略]	[略]
通信運搬費等の構成				
項目	備考			
[略]	[略]			
材料費の構成				
品名	規格	単位	数量	摘要
[略]		[略]	[略]	[略]

現行

2-1-2 2級基準点測量

本歩掛の適用範囲は、新点 35 点以下とする。

標準作業量	新設点 10 点	作業条件	平地、耕地
-------	----------	------	-------

直接人件費

作業区分	内外業別	編成 (人)					所要日数 (日)					延人員 (人)					計
		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	
[略]	[略]	[略]					[略]					[略]					
		外業										[略]					
		内業										[略]					
		計										[略]					

機械経費、通信運搬費等、材料費

費目	直接人件費に対する割合		備考
	伐採あり	伐採なし	
機械経費	7.5%	8.0%	
通信運搬費等	[略]	[略]	
材料費	2.5%	[略]	

(注) (1)~(4) [略]

(参考) 測量業務標準歩掛における各作業の直接人件費に対する機械経費、通信運搬費等、材料費の割合の構成を下表に示す。  
 なお、下表に示す各資機材等の種類、数量は標準歩掛設定に用いた標準的なものである。

機械経費の構成				
名称	規格	単位	数量	摘要
[略]	[略]	[略]	[略]	[略]
通信運搬費等の構成				
項目	備考			
[略]	[略]			
材料費の構成				
品名	規格	単位	数量	摘要
[略]		[略]	[略]	[略]



改正後

2-1-3 3級基準点測量

本歩掛の適用範囲は、新点 80 点以下とする。

標準作業量	新設点 20 点	作業条件	平地、耕地
-------	----------	------	-------

直接人件費

作業区分	内外業別	編成 (人)					所要日数 (日)					延人員 (人)					計
		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	
[略]	[略]	[略]					[略]					[略]					
		外業										[略]					
		内業										[略]					
		計										[略]					

機械経費、通信運搬費等、材料費

費目	直接人件費に対する割合				備考
	伐採あり		伐採なし		
	永久標識設置あり	永久標識設置なし	永久標識設置あり	永久標識設置なし	
機械経費	[略]	[略]	[略]	[略]	
通信運搬費等	[略]	[略]	[略]	[略]	
材料費	[略]	[略]	[略]	1.0%	

(注) (1)~(4) [略]

(参考) 測量業務標準歩掛における各作業の直接人件費に対する機械経費、通信運搬費等、材料費の割合の構成を下表に示す。  
なお、下表に示す各資機材等の種類、数量は標準歩掛設定に用いた標準的なものである。

機械経費の構成				
名称	規格	単位	数量	摘要
[略]	[略]	[略]	[略]	[略]
通信運搬費等の構成				
項目	備考			
[略]	[略]			
材料費の構成				
品名	規格	単位	数量	摘要
[略]	[略]	[略]	[略]	[略]

2-1-4 [略]

現行

2-1-3 3級基準点測量

本歩掛の適用範囲は、新点 80 点以下とする。

標準作業量	新設点 20 点	作業条件	平地、耕地
-------	----------	------	-------

直接人件費

作業区分	内外業別	編成 (人)					所要日数 (日)					延人員 (人)					計
		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	
[略]	[略]	[略]					[略]					[略]					
		外業										[略]					
		内業										[略]					
		計										[略]					

機械経費、通信運搬費等、材料費

費目	直接人件費に対する割合				備考
	伐採あり		伐採なし		
	永久標識設置あり	永久標識設置なし	永久標識設置あり	永久標識設置なし	
機械経費	[略]	[略]	[略]	[略]	
通信運搬費等	[略]	[略]	[略]	[略]	
材料費	[略]	[略]	[略]	1.5%	

(注) (1)~(4) [略]

(参考) 測量業務標準歩掛における各作業の直接人件費に対する機械経費、通信運搬費等、材料費の割合の構成を下表に示す。  
なお、下表に示す各資機材等の種類、数量は標準歩掛設定に用いた標準的なものである。

機械経費の構成				
名称	規格	単位	数量	摘要
[略]	[略]	[略]	[略]	[略]
通信運搬費等の構成				
項目	備考			
[略]	[略]			
材料費の構成				
品名	規格	単位	数量	摘要
[略]	[略]	[略]	[略]	[略]

2-1-4 [略]

改正後

2-1-5 地上埋設（上面舗装）

本歩掛の適用範囲は、新点 80 点以下とする。

標準作業量	新設点 10 点	作業条件	平地、耕地
-------	----------	------	-------

直接人件費

作業区分	内外業別	編成（人）					所要日数（日）					延人員（人）					計
		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	
[略]	[略]	[略]					[略]					[略]					
		外業										[略]					
		内業										[略]					
		計										[略]					

機械経費、通信運搬費等、材料費

費目	直接人件費に対する割合	備考
機械経費	[略]	
通信運搬費等	[略]	
材料費	16.0%	

(注) (1)・(2) [略]

(参考) 測量業務標準歩掛における各作業の直接人件費に対する機械経費、通信運搬費等、材料費の割合の構成を下表に示す。  
 なお、下表に示す各資機材等の種類、数量は標準歩掛設定に用いた標準的なものである。

機械経費の構成				
名称	規格	単位	数量	摘要
[略]	[略]	[略]	[略]	[略]
通信運搬費等の構成				
項目	備考			
[略]				
材料費の構成				
品名	規格	単位	数量	摘要
[略]	[略]	[略]	[略]	[略]

2-1-6 [略]

2-1-7 [略]

現行

2-1-5 地上埋設（上面舗装）

本歩掛の適用範囲は、新点 80 点以下とする。

標準作業量	新設点 10 点	作業条件	平地、耕地
-------	----------	------	-------

直接人件費

作業区分	内外業別	編成（人）					所要日数（日）					延人員（人）					計
		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	
[略]	[略]	[略]					[略]					[略]					
		外業										[略]					
		内業										[略]					
		計										[略]					

機械経費、通信運搬費等、材料費

費目	直接人件費に対する割合	備考
機械経費	[略]	
通信運搬費等	[略]	
材料費	16.5%	

(注) (1)・(2) [略]

(参考) 測量業務標準歩掛における各作業の直接人件費に対する機械経費、通信運搬費等、材料費の割合の構成を下表に示す。  
 なお、下表に示す各資機材等の種類、数量は標準歩掛設定に用いた標準的なものである。

機械経費の構成				
名称	規格	単位	数量	摘要
[略]	[略]	[略]	[略]	[略]
通信運搬費等の構成				
項目	備考			
[略]				
材料費の構成				
品名	規格	単位	数量	摘要
[略]	[略]	[略]	[略]	[略]

2-1-6 [略]

2-1-7 [略]

改正後

現行

2-2 水準測量

1級～4級水準測量の観測作業に適用する。(水準点設置は、2-2-5及び2-2-6による)

2-2 水準測量

1級～4級水準測量の観測作業に適用する。(水準点設置は、2-2-5及び2-2-6による)

2-2-1 1級水準測量 (レベル等による)

本歩掛の適用範囲は、1級水準測量700km以下とする。

2-2-1 1級水準測量

本歩掛の適用範囲は、1級水準測量700km以下とする。

標準作業量	100km	作業条件	道路上、平地、市街地乙
-------	-------	------	-------------

標準作業量	100km	作業条件	道路上、平地、市街地乙
-------	-------	------	-------------

直接人件費

作業区分	内外業別	編成(人)					所要日数(日)					延人員(人)					計
		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	
[略]	[略]	[略]					[略]					[略]					
		外業										[略]					
		内業										[略]					
		計										[略]					

直接人件費

作業区分	内外業別	編成(人)					所要日数(日)					延人員(人)					計
		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	
[略]	[略]	[略]					[略]					[略]					
		外業										[略]					
		内業										[略]					
		計										[略]					

機械経費、通信運搬費等、材料費

費目	直接人件費に対する割合	備考
機械経費	7.5%	
通信運搬費等	[略]	
材料費	[略]	

機械経費、通信運搬費等、材料費

費目	直接人件費に対する割合	備考
機械経費	6.5%	
通信運搬費等	[略]	
材料費	[略]	

(注) [略]

(注) [略]

(参考) 測量業務標準歩掛における各作業の直接人件費に対する機械経費、通信運搬費等、材料費の割合の構成を下表に示す。

(参考) 測量業務標準歩掛における各作業の直接人件費に対する機械経費、通信運搬費等、材料費の割合の構成を下表に示す。

なお、下表に示す各資機材等の種類、数量は標準歩掛設定に用いた標準的なものである。

なお、下表に示す各資機材等の種類、数量は標準歩掛設定に用いた標準的なものである。

機械経費の構成				
名称	規格	単位	数量	摘要
[略]	[略]	[略]	[略]	[略]
通信運搬費等の構成				
項目	備考			
[略]				
材料費の構成				
品名	規格	単位	数量	摘要
[略]	[略]	[略]	[略]	[略]

機械経費の構成				
名称	規格	単位	数量	摘要
[略]	[略]	[略]	[略]	[略]
通信運搬費等の構成				
項目	備考			
[略]				
材料費の構成				
品名	規格	単位	数量	摘要
[略]	[略]	[略]	[略]	[略]

改正後

2-2-2 2級水準測量 (レベル等による)

本歩掛の適用範囲は、2級水準測量100km以下とする。

標準作業量	30km	作業条件	道路上、平地、市街地乙
-------	------	------	-------------

直接人件費

作業区分	内外業別	編成(人)					所要日数(日)					延人員(人)					計
		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	
[略]	[略]	[略]					[略]					[略]					
		外業										[略]					
		内業										[略]					
		計										[略]					

機械経費、通信運搬費等、材料費

費目	直接人件費に対する割合	備考
機械経費	4.5%	
通信運搬費等	[略]	
材料費	[略]	

(注) [略]

(参考) 測量業務標準歩掛における各作業の直接人件費に対する機械経費、通信運搬費等、材料費の割合の構成を下表に示す。

なお、下表に示す各資機材等の種類、数量は標準歩掛設定に用いた標準的なものである。

機械経費の構成				
名称	規格	単位	数量	摘要
[略]	[略]	[略]	[略]	[略]
通信運搬費等の構成				
項目	備考			
[略]				
材料費の構成				
品名	規格	単位	数量	摘要
[略]	[略]	[略]	[略]	[略]

現行

2-2-2 2級水準測量

本歩掛の適用範囲は、2級水準測量100km以下とする。

標準作業量	30km	作業条件	道路上、平地、市街地乙
-------	------	------	-------------

直接人件費

作業区分	内外業別	編成(人)					所要日数(日)					延人員(人)					計
		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	
[略]	[略]	[略]					[略]					[略]					
		外業										[略]					
		内業										[略]					
		計										[略]					

機械経費、通信運搬費等、材料費

費目	直接人件費に対する割合	備考
機械経費	4.0%	
通信運搬費等	[略]	
材料費	[略]	

(注) [略]

(参考) 測量業務標準歩掛における各作業の直接人件費に対する機械経費、通信運搬費等、材料費の割合の構成を下表に示す。

なお、下表に示す各資機材等の種類、数量は標準歩掛設定に用いた標準的なものである。

機械経費の構成				
名称	規格	単位	数量	摘要
[略]	[略]	[略]	[略]	[略]
通信運搬費等の構成				
項目	備考			
[略]				
材料費の構成				
品名	規格	単位	数量	摘要
[略]	[略]	[略]	[略]	[略]

改正後

2-2-3 3級水準測量 (レベル等による)

本歩掛の適用範囲は、3級水準測量50km以下とする。

標準作業量	5km	作業条件	道路上、平地、市街地乙
-------	-----	------	-------------

直接人件費

作業区分	内外業別	編成(人)					所要日数(日)					延人員(人)					計
		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	
[略]	[略]	[略]					[略]					[略]					
		外業										[略]					
		内業										[略]					
		計										[略]					

機械経費、通信運搬費等、材料費

費目	直接人件費に対する割合	備考
機械経費	3.0%	
通信運搬費等	[略]	
材料費	1.5%	

(注) [略]

(参考) 測量業務標準歩掛における各作業の直接人件費に対する機械経費、通信運搬費等、材料費の割合の構成を下表に示す。

なお、下表に示す各資機材等の種類、数量は標準歩掛設定に用いた標準的なものである。

機械経費の構成				
名称	規格	単位	数量	摘要
[略]	[略]	[略]	[略]	[略]
通信運搬費等の構成				
項目	備考			
[略]				
材料費の構成				
品名	規格	単位	数量	摘要
[略]	[略]	[略]	[略]	[略]

現行

2-2-3 3級水準測量

本歩掛の適用範囲は、3級水準測量50km以下とする。

標準作業量	5km	作業条件	道路上、平地、市街地乙
-------	-----	------	-------------

直接人件費

作業区分	内外業別	編成(人)					所要日数(日)					延人員(人)					計
		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	
[略]	[略]	[略]					[略]					[略]					
		外業										[略]					
		内業										[略]					
		計										[略]					

機械経費、通信運搬費等、材料費

費目	直接人件費に対する割合	備考
機械経費	2.5%	
通信運搬費等	[略]	
材料費	2.0%	

(注) [略]

(参考) 測量業務標準歩掛における各作業の直接人件費に対する機械経費、通信運搬費等、材料費の割合の構成を下表に示す。

なお、下表に示す各資機材等の種類、数量は標準歩掛設定に用いた標準的なものである。

機械経費の構成				
名称	規格	単位	数量	摘要
[略]	[略]	[略]	[略]	[略]
通信運搬費等の構成				
項目	備考			
[略]				
材料費の構成				
品名	規格	単位	数量	摘要
[略]	[略]	[略]	[略]	[略]

改正後

2-2-4 4級水準測量 (レベル等による)

本歩掛の適用範囲は、4級水準測量20km以下とする。

標準作業量	2km	作業条件	道路上、平地、市街地乙
-------	-----	------	-------------

直接人件費

作業区分	内外業別	編成(人)					所要日数(日)					延人員(人)					計
		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	
[略]	[略]	[略]					[略]					[略]					
		外業										[略]					
		内業										[略]					
		計										[略]					

機械経費、通信運搬費等、材料費

費目	直接人件費に対する割合	備考
機械経費	2.5%	
通信運搬費等	[略]	
材料費	3.5%	

(注) [略]

(参考) 測量業務標準歩掛における各作業の直接人件費に対する機械経費、通信運搬費等、材料費の割合の構成を下表に示す。

なお、下表に示す各資機材等の種類、数量は標準歩掛設定に用いた標準的なものである。

機械経費の構成				
名称	規格	単位	数量	摘要
[略]	[略]	[略]	[略]	[略]
通信運搬費等の構成				
項目	備考			
[略]				
材料費の構成				
品名	規格	単位	数量	摘要
[略]	[略]	[略]	[略]	[略]

現行

2-2-4 4級水準測量

本歩掛の適用範囲は、4級水準測量20km以下とする。

標準作業量	2km	作業条件	道路上、平地、市街地乙
-------	-----	------	-------------

直接人件費

作業区分	内外業別	編成(人)					所要日数(日)					延人員(人)					計
		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	
[略]	[略]	[略]					[略]					[略]					
		外業										[略]					
		内業										[略]					
		計										[略]					

機械経費、通信運搬費等、材料費

費目	直接人件費に対する割合	備考
機械経費	2.0%	
通信運搬費等	[略]	
材料費	4.0%	

(注) [略]

(参考) 測量業務標準歩掛における各作業の直接人件費に対する機械経費、通信運搬費等、材料費の割合の構成を下表に示す。

なお、下表に示す各資機材等の種類、数量は標準歩掛設定に用いた標準的なものである。

機械経費の構成				
名称	規格	単位	数量	摘要
[略]	[略]	[略]	[略]	[略]
通信運搬費等の構成				
項目	備考			
[略]				
材料費の構成				
品名	規格	単位	数量	摘要
[略]	[略]	[略]	[略]	[略]

改正後

2-2-5 水準点設置（永久標識）

本歩掛の適用範囲は、新点 65 点以下とする。

標準作業量	8 点	作業条件	-
-------	-----	------	---

直接人件費

作業区分	内外業別	編成 (人)					所要日数 (日)					延人員 (人)					計
		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	
[略]	[略]	[略]					[略]					[略]					
		外業										[略]					
		内業										[略]					
		計										[略]					

機械経費、通信運搬費等、材料費

費目	直接人件費に対する割合	備考
機械経費	2.5%	
通信運搬費等	[略]	
材料費	19.5%	

(注) (1)・(2) [略]

(参考) 測量業務標準歩掛における各作業の直接人件費に対する機械経費、通信運搬費等、材料費の割合の構成を下表に示す。  
 なお、下表に示す各資機材等の種類、数量は標準歩掛設定に用いた標準的なものである。

機械経費の構成				
名称	規格	単位	数量	摘要
[略]	[略]	[略]	[略]	[略]
通信運搬費等の構成				
項目	備考			
[略]				
材料費の構成				
品名	規格	単位	数量	摘要
[略]	[略]	[略]	[略]	[略]

2-2-6 [略]

現行

2-2-5 水準点設置（永久標識）

本歩掛の適用範囲は、新点 65 点以下とする。

標準作業量	8 点	作業条件	-
-------	-----	------	---

直接人件費

作業区分	内外業別	編成 (人)					所要日数 (日)					延人員 (人)					計
		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	
[略]	[略]	[略]					[略]					[略]					
		外業										[略]					
		内業										[略]					
		計										[略]					

機械経費、通信運搬費等、材料費

費目	直接人件費に対する割合	備考
機械経費	2.0%	
通信運搬費等	[略]	
材料費	20.0%	

(注) (1)・(2) [略]

(参考) 測量業務標準歩掛における各作業の直接人件費に対する機械経費、通信運搬費等、材料費の割合の構成を下表に示す。  
 なお、下表に示す各資機材等の種類、数量は標準歩掛設定に用いた標準的なものである。

機械経費の構成				
名称	規格	単位	数量	摘要
[略]	[略]	[略]	[略]	[略]
通信運搬費等の構成				
項目	備考			
[略]				
材料費の構成				
品名	規格	単位	数量	摘要
[略]	[略]	[略]	[略]	[略]

2-2-6 [略]

改正後

3 路線測量

3-1 作業計画

標準作業量	1 業務	作業条件	-
-------	------	------	---

直接人件費

内外業務	編成 (人)					所要日数 (日)					延人員 (人)					計
	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	
外																
内	1	1	1			0.6	0.9	0.6			0.6	0.9	0.6			2.1
計											0.6	0.9	0.6			2.1

機械経費、通信運搬費等、材料費

費目	直接人件費に対する割合	備考
機械経費	-	
通信運搬費等	-	
材料費	-	

(注) [略]

現行

3 路線測量

3-1 作業計画

標準作業量	1 業務	作業条件	-
-------	------	------	---

直接人件費

内外業務	編成 (人)					所要日数 (日)					延人員 (人)					計
	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	
外																
内	1	1	1			0.6	0.8	0.4			0.6	0.8	0.4			1.8
計											0.6	0.8	0.4			1.8

機械経費、通信運搬費等、材料費

費目	直接人件費に対する割合	備考
機械経費	-	
通信運搬費等	-	
材料費	-	

(注) [略]



改正後

現行

3-2 現地踏査

3-2 現地踏査

標準作業量	1km	作業条件	平地、耕地
-------	-----	------	-------

標準作業量	1km	作業条件	平地、耕地
-------	-----	------	-------

直接人件費

内外業務	編成(人)					所要日数(日)					延人員(人)					計
	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	
外		1	1			1.6	1.4				1.6	1.4				3.0
内																
計											1.6	1.4				3.0

直接人件費

内外業務	編成(人)					所要日数(日)					延人員(人)					計
	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	
外		1	1			0.8	0.8				0.8	0.8				1.6
内																
計											0.8	0.8				1.6

機械経費、通信運搬費等、材料費

費目	直接人件費に対する割合	備考
機械経費	1.0%	
通信運搬費等	-	
材料費	6.5%	

(注) [略]

機械経費、通信運搬費等、材料費

費目	直接人件費に対する割合	備考
機械経費	2.0%	
通信運搬費等	-	
材料費	13.0%	

(注) [略]

(参考) 測量業務標準歩掛における各作業の直接人件費に対する機械経費、通信運搬費等、材料費の割合の構成を下表に示す。  
なお、下表に示す各資機材等の種類、数量は標準歩掛設定に用いた標準的なものである。

(参考) 測量業務標準歩掛における各作業の直接人件費に対する機械経費、通信運搬費等、材料費の割合の構成を下表に示す。  
なお、下表に示す各資機材等の種類、数量は標準歩掛設定に用いた標準的なものである。

機械経費の構成				
名称	規格	単位	数量	摘要
ライトバン	1.5L	台日	1.6	供用日損料
〃	〃	台時	3.2	運転時間損料
雑器材		式	1	
材料費の構成				
品名	規格	単位	数量	摘要
木杭	6cm×6cm×60cm	本	13	
ガソリン		L	8.3	2.6L×3.2h
雑品		式	1	

機械経費の構成				
名称	規格	単位	数量	摘要
ライトバン	1.5L	台日	0.8	供用日損料
〃	〃	台時	1.6	運転時間損料
雑器材		式	1	
材料費の構成				
品名	規格	単位	数量	摘要
木杭	6cm×6cm×60cm	本	13	
ガソリン		L	4.1	2.6L×1.6h
雑品		式	1	

改正後

現行

3-3 線形決定

3-3 線形決定

標準作業量	1km	作業条件	平地、耕地
-------	-----	------	-------

標準作業量	1km	作業条件	平地、耕地
-------	-----	------	-------

直接人件費

内外業務	編成(人)					所要日数(日)					延人員(人)					計
	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	
外																
内	1	1	1			0.4	2.6	2.1			0.4	2.6	2.1			5.1
計											0.4	2.6	2.1			5.1

直接人件費

内外業務	編成(人)					所要日数(日)					延人員(人)					計
	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	
外																
内	1	1	1			0.2	1.4	1.4			0.2	1.4	1.4			3.0
計											0.2	1.4	1.4			3.0

機械経費、通信運搬費等、材料費

費目	直接人件費に対する割合	備考
機械経費	0.5%	
通信運搬費等	-	
材料費	2.0%	

機械経費、通信運搬費等、材料費

費目	直接人件費に対する割合	備考
機械経費	1.0%	
通信運搬費等	-	
材料費	4.0%	

(注) [略]

(注) [略]

(参考) 測量業務標準歩掛における各作業の直接人件費に対する機械経費、通信運搬費等、材料費の割合の構成を下表に示す。  
なお、下表に示す各資機材等の種類、数量は標準歩掛設定に用いた標準的なものである。

(参考) 測量業務標準歩掛における各作業の直接人件費に対する機械経費、通信運搬費等、材料費の割合の構成を下表に示す。  
なお、下表に示す各資機材等の種類、数量は標準歩掛設定に用いた標準的なものである。

機械経費の構成				
名称	規格	単位	数量	摘要
座標展開機		台日	0.6	
電子計算機	パーソナルコンピュータ	〃	0.7	
雑器材		式	1	
材料費の構成				
品名	規格	単位	数量	摘要
ポリエステルフィルム	#300 0.9×20m	本	0.16	
雑品		式	1	

機械経費の構成				
名称	規格	単位	数量	摘要
座標展開機		台日	0.4	
電子計算機	パーソナルコンピュータ	〃	0.3	
雑器材		式	1	
材料費の構成				
品名	規格	単位	数量	摘要
ポリエステルフィルム	#300 0.9×20m	本	0.16	
雑品		式	1	

改正後

現行

3-4 IP設置測量

3-4 IP設置測量

標準作業量	1km	作業条件	平地、耕地、クロソイド曲線1ヶ所
-------	-----	------	------------------

標準作業量	1km	作業条件	平地、耕地、クロソイド曲線1ヶ所
-------	-----	------	------------------

直接人件費

内外業務	編成(人)					所要日数(日)					延人員(人)					計
	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	
外		1	1	1		1.4	1.4	1.0			1.4	1.4	1.0		3.8	
内		1	1			1.2	1.0				1.2	1.0			2.2	
計											2.6	2.4	1.0		6.0	

直接人件費

内外業務	編成(人)					所要日数(日)					延人員(人)					計
	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	
外		1	1	1		0.8	0.8	0.8			0.8	0.8	0.8		2.4	
内		1	1			0.6	0.5				0.6	0.5			1.1	
計											1.4	1.3	0.8		3.5	

機械経費、通信運搬費等、材料費

費目	直接人件費に対する割合	備考
機械経費	1.5%	
通信運搬費等	-	
材料費	3.0%	

機械経費、通信運搬費等、材料費

費目	直接人件費に対する割合	備考
機械経費	2.5%	
通信運搬費等	-	
材料費	5.5%	

(注) (1)・(2) [略]

(3) IP設置計算が不要な場合(IP点の座標値が既知である場合)は内業延人員から測量技師を0.4人、測量技師補を0.5人減ずる。

(注) (1)・(2) [略]

(3) IP設置計算が不要な場合(IP点の座標値が既知である場合)は測量技師及び測量技師補の内業延人員からそれぞれ0.2人を減ずる。

(参考) 測量業務標準歩掛における各作業の直接人件費に対する機械経費、通信運搬費等、材料費の割合の構成を下表に示す。  
なお、下表に示す各資機材等の種類、数量は標準歩掛設定に用いた標準的なものである。

(参考) 測量業務標準歩掛における各作業の直接人件費に対する機械経費、通信運搬費等、材料費の割合の構成を下表に示す。  
なお、下表に示す各資機材等の種類、数量は標準歩掛設定に用いた標準的なものである。

機械経費の構成				
名称	規格	単位	数量	摘要
トータルステーション	3級	台日	1.4	
ライトバン	1.5L	〃	1.4	供用日損料
〃	〃	台時	2.8	運転時間損料
雑器材		式	1	
材料費の構成				
品名	規格	単位	数量	摘要
木杭	9cm×9cm×90cm	本	7	
木杭	6cm×6cm×60cm	〃	6	
ガソリン		L	7.2	2.6L×2.8h
雑品		式	1	

機械経費の構成				
名称	規格	単位	数量	摘要
トータルステーション	3級	台日	0.8	
ライトバン	1.5L	〃	0.8	供用日損料
〃	〃	台時	1.6	運転時間損料
雑器材		式	1	
材料費の構成				
品名	規格	単位	数量	摘要
木杭	9cm×9cm×90cm	本	7	
木杭	6cm×6cm×60cm	〃	6	
ガソリン		L	4.1	2.6L×1.6h
雑品		式	1	

改正後

現行

3-5 中心線測量

3-5 中心線測量

標準作業量	1km	作業条件	平地、耕地、クロソイド曲線1ヶ所 測点間隔20m
-------	-----	------	-----------------------------

標準作業量	1km	作業条件	平地、耕地、クロソイド曲線1ヶ所 測点間隔20m
-------	-----	------	-----------------------------

直接人件費

内外業務	編成(人)					所要日数(日)					延人員(人)					計
	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	
外		1	1	1		2.5	2.8	2.2			2.5	2.8	2.2		7.5	
内		1	1			1.8	1.8				1.8	1.8			3.6	
計											4.3	4.6	2.2		11.1	

直接人件費

内外業務	編成(人)					所要日数(日)					延人員(人)					計
	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	
外		1	1	1		2.2	2.4	2.1			2.2	2.4	2.1		6.7	
内		1	1			0.6	0.9				0.6	0.9			1.5	
計											2.8	3.3	2.1		8.2	

機械経費、通信運搬費等、材料費

費目	直接人件費に対する割合	備考
機械経費	2.5%	
通信運搬費等	-	
材料費	5.5%	

(注) (1)・(2) [略]

(参考) 測量業務標準歩掛における各作業の直接人件費に対する機械経費、通信運搬費等、材料費の割合の構成を下表に示す。  
なお、下表に示す各資機材等の種類、数量は標準歩掛設定に用いた標準的なものである。

機械経費の構成				
名称	規格	単位	数量	摘要
トータルステーション	3級	台日	2.5	
座標展開機		〃	0.6	
ライトバン	1.5L	〃	2.8	供用日損料
〃	〃	台時	5.6	運転時間損料
雑器材		式	1	
材料費の構成				
品名	規格	単位	数量	摘要
木杭	9cm×9cm×75cm	本	10	
木杭	6cm×6cm×60cm	〃	65	
ポリエステルフィルム	#300 0.9×20m	〃	0.17	
ガソリン		L	14.5	2.6L×5.6h
雑品		式	1	

3-6 [略]

機械経費、通信運搬費等、材料費

費目	直接人件費に対する割合	備考
機械経費	3.5%	
通信運搬費等	-	
材料費	8.0%	

(注) (1)・(2) [略]

(参考) 測量業務標準歩掛における各作業の直接人件費に対する機械経費、通信運搬費等、材料費の割合の構成を下表に示す。  
なお、下表に示す各資機材等の種類、数量は標準歩掛設定に用いた標準的なものである。

機械経費の構成				
名称	規格	単位	数量	摘要
トータルステーション	3級	台日	2.2	
座標展開機		〃	0.2	
ライトバン	1.5L	台日	2.4	供用日損料
〃	〃	台時	4.8	運転時間損料
雑器材		式	1	
材料費の構成				
品名	規格	単位	数量	摘要
木杭	9cm×9cm×75cm	本	10	
木杭	6cm×6cm×60cm	〃	65	
ポリエステルフィルム	#300 0.9×20m	〃	0.17	
ガソリン		L	12.4	2.6L×4.8h
雑品		式	1	

3-6 [略]

改正後

現行

3-7 縦断測量

3-7 縦断測量

標準作業量	1km	作業条件	平地、耕地、往復
-------	-----	------	----------

標準作業量	1km	作業条件	平地、耕地、往復
-------	-----	------	----------

直接人件費

内外業務	編成(人)					所要日数(日)					延人員(人)					計
	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	
外		1	1	1		1.6	1.8	1.4			1.6	1.8	1.4		4.8	
内		1	1	1		1.3	1.1	0.5			1.3	1.1	0.5		2.9	
計											2.9	2.9	1.9		7.7	

直接人件費

内外業務	編成(人)					所要日数(日)					延人員(人)					計
	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	
外		1	1	1		1.4	1.5	1.5			1.4	1.5	1.5		4.4	
内		1	1	1		0.7	0.7	0.4			0.7	0.7	0.4		1.8	
計											2.1	2.2	1.9		6.2	

機械経費、通信運搬費等、材料費

費目	直接人件費に対する割合	備考
機械経費	[略]	
通信運搬費等	-	
材料費	3.0%	

機械経費、通信運搬費等、材料費

費目	直接人件費に対する割合	備考
機械経費	[略]	
通信運搬費等	-	
材料費	4.0%	

(注) (1)・(2) [略]

(注) (1)・(2) [略]

(参考) 測量業務標準歩掛における各作業の直接人件費に対する機械経費、通信運搬費等、材料費の割合の構成を下表に示す。  
なお、下表に示す各資機材等の種類、数量は標準歩掛設定に用いた標準的なものである。

(参考) 測量業務標準歩掛における各作業の直接人件費に対する機械経費、通信運搬費等、材料費の割合の構成を下表に示す。  
なお、下表に示す各資機材等の種類、数量は標準歩掛設定に用いた標準的なものである。

機械経費の構成				
名称	規格	単位	数量	摘要
レベル	3級	台日	1.6	
ライトバン	1.5L	"	1.8	供用日損料
"	"	台時	3.6	運転時間損料
雑器材		式	1	
材料費の構成				
品名	規格	単位	数量	摘要
セクションポリエステルフィルム	#300 0.9×20m	本	0.18	
ガソリン		L	9.3	2.6L×3.6h
雑品		式	1	

機械経費の構成				
名称	規格	単位	数量	摘要
レベル	3級	台日	1.4	
ライトバン	1.5L	"	1.5	供用日損料
"	"	台時	3.0	運転時間損料
雑器材		式	1	
材料費の構成				
品名	規格	単位	数量	摘要
セクションポリエステルフィルム	#300 0.9×20m	本	0.18	
ガソリン		L	7.8	2.6L×3.0h
雑品		式	1	

改正後

現行

3-8 横断測量

3-8 横断測量

標準作業量	1km	作業条件	平地、耕地、クロソイド曲線1ヶ所 測点間隔20m
-------	-----	------	-----------------------------

標準作業量	1km	作業条件	平地、耕地、クロソイド曲線1ヶ所 測点間隔20m
-------	-----	------	-----------------------------

直接人件費

内外業務	編成(人)					所要日数(日)					延人員(人)					計
	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	
外		1	1	1		6.4	7.2	5.3			6.4	7.2	5.3		18.9	
内		1	1	1		3.9	3.4	1.5			3.9	3.4	1.5		8.8	
計											10.3	10.6	6.8		27.7	

直接人件費

内外業務	編成(人)					所要日数(日)					延人員(人)					計
	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	
外		1	1	1		5.6	6.3	6.0			5.6	6.3	6.0		17.9	
内		1	1	1		2.2	3.1	1.7			2.2	3.1	1.7		7.0	
計											7.8	9.4	7.7		24.9	

機械経費、通信運搬費等、材料費

費目	直接人件費に対する割合	備考
機械経費	[略]	
通信運搬費等	-	
材料費	3.0%	

(注) (1)・(2) [略]

(参考) 測量業務標準歩掛における各作業の直接人件費に対する機械経費、通信運搬費等、材料費の割合の構成を下表に示す。  
なお、下表に示す各資機材等の種類、数量は標準歩掛設定に用いた標準的なものである。

機械経費の構成				
名称	規格	単位	数量	摘要
レベル	3級	台日	6.4	
ライトバン	1.5L	〃	7.2	供用日損料
〃	〃	台時	14.4	運転時間損料
雑器材		式	1	
材料費の構成				
品名	規格	単位	数量	摘要
木杭	4.5×4.5×45cm	本	112	
セクションポリエステルフィルム	#300 0.9×20m	〃	0.56	
ガソリン		L	37.4	2.6L×14.4h
雑品		式	1	

機械経費、通信運搬費等、材料費

費目	直接人件費に対する割合	備考
機械経費	[略]	
通信運搬費等	-	
材料費	3.5%	

(注) (1)・(2) [略]

(参考) 測量業務標準歩掛における各作業の直接人件費に対する機械経費、通信運搬費等、材料費の割合の構成を下表に示す。  
なお、下表に示す各資機材等の種類、数量は標準歩掛設定に用いた標準的なものである。

機械経費の構成				
名称	規格	単位	数量	摘要
レベル	3級	台日	5.6	
ライトバン	1.5L	〃	6.3	供用日損料
〃	〃	台時	12.6	運転時間損料
雑器材		式	1	
材料費の構成				
品名	規格	単位	数量	摘要
木杭	4.5×4.5×45cm	本	112	
セクションポリエステルフィルム	#300 0.9×20m	〃	0.56	
ガソリン		L	32.7	2.6L×12.6h
雑品		式	1	

改正後

現行

3-9 用地幅杭設置測量

3-9 用地幅杭設置測量

標準作業量	1km	作業条件	平地、耕地、往復 測点間隔20m、全幅50m
-------	-----	------	---------------------------

標準作業量	1km	作業条件	平地、耕地、往復 測点間隔20m、全幅50m
-------	-----	------	---------------------------

直接人件費

内外業務	編成(人)					所要日数(日)					延人員(人)					計
	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	
外	[略]					[略]					[略]					
内	[略]					[略]					[略]					
計	[略]					[略]					[略]					

直接人件費

内外業務	編成(人)					所要日数(日)					延人員(人)					計
	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	
外	[略]					[略]					[略]					
内	[略]					[略]					[略]					
計	[略]					[略]					[略]					

機械経費、通信運搬費等、材料費

費目	直接人件費に対する割合	備考
機械経費	3.0%	
通信運搬費等	-	
材料費	[略]	

(注) (1)~(3) [略]

(参考) 測量業務標準歩掛における各作業の直接人件費に対する機械経費、通信運搬費等、材料費の割合の構成を下表に示す。  
なお、下表に示す各資機材等の種類、数量は標準歩掛設定に用いた標準的なものである。

機械経費の構成				
名称	規格	単位	数量	摘要
[略]	[略]	[略]	[略]	[略]
材料費の構成				
品名	規格	単位	数量	摘要
[略]	[略]	[略]	[略]	[略]

機械経費、通信運搬費等、材料費

費目	直接人件費に対する割合	備考
機械経費	2.5%	
通信運搬費等	-	
材料費	[略]	

(注) (1)~(3) [略]

(参考) 測量業務標準歩掛における各作業の直接人件費に対する機械経費、通信運搬費等、材料費の割合の構成を下表に示す。  
なお、下表に示す各資機材等の種類、数量は標準歩掛設定に用いた標準的なものである。

機械経費の構成				
名称	規格	単位	数量	摘要
[略]	[略]	[略]	[略]	[略]
材料費の構成				
品名	規格	単位	数量	摘要
[略]	[略]	[略]	[略]	[略]

改正後

現行

3-10 伐採

3-10 伐採

標準作業量	1km	作業条件	平地、耕地
-------	-----	------	-------

標準作業量	1km	作業条件	平地、耕地
-------	-----	------	-------

直接人件費

内外業務	編成(人)					所要日数(日)					延人員(人)					計
	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	
外			1	1	1			2.3	3.0	4.7			2.3	3.0	4.7	10.0
内																
計													2.3	3.0	4.7	10.0

直接人件費

内外業務	編成(人)					所要日数(日)					延人員(人)					計
	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	
外			1	1	1			1.9	1.9	1.9			1.9	1.9	1.9	5.7
内																
計													1.9	1.9	1.9	5.7

機械経費、通信運搬費等、材料費

費目	直接人件費に対する割合	備考
機械経費	1.0%	
通信運搬費等	-	
材料費	1.5%	

(注) (1)~(3) [略]

(参考) 測量業務標準歩掛における各作業の直接人件費に対する機械経費、通信運搬費等、材料費の割合の構成を下表に示す。  
なお、下表に示す各資機材等の種類、数量は標準歩掛設定に用いた標準的なものである。

機械経費の構成				
名称	規格	単位	数量	摘要
ライトバン	1.5L	台日	2.3	供用日損料
〃	〃	台時	4.6	運転時間損料
雑器材		式	1	
材料費の構成				
品名	規格	単位	数量	摘要
ガソリン		L	11.9	2.6L×4.6h
雑品		式	1	

4 現地測量 [略]

機械経費、通信運搬費等、材料費

費目	直接人件費に対する割合	備考
機械経費	1.5%	
通信運搬費等	-	
材料費	3.0%	

(注) (1)~(3) [略]

(参考) 測量業務標準歩掛における各作業の直接人件費に対する機械経費、通信運搬費等、材料費の割合の構成を下表に示す。  
なお、下表に示す各資機材等の種類、数量は標準歩掛設定に用いた標準的なものである。

機械経費の構成				
名称	規格	単位	数量	摘要
ライトバン	1.5L	台日	1.9	供用日損料
〃	〃	台時	3.8	運転時間損料
雑器材		式	1	
材料費の構成				
品名	規格	単位	数量	摘要
ガソリン		L	9.8	2.6L×3.8h
雑品		式	1	

4 現地測量 [略]



(別紙) 設計業務標準歩掛について (平成13年3月29日付け12農振第1974号農林水産省農村振興局長通知) 一部改正新旧対照表

(下線部は改正部分)

改 正 後	現 行
<p>別 紙</p> <p>設計業務標準歩掛</p> <p>1～7 [略]</p> <p>8 積算参考資料作成</p> <p>(1) 適 用</p> <p>1)～2) [略]</p> <p><u>3) 積算参考資料作成業務と実施設計業務を一括して発注する場合は、5 施工計画書作成の歩掛欄の技師Aを0.4とし、さらに実施設計作業と重複する積算参考資料作成業務の作業項目については、1/2に歩掛の補正を行う。</u></p> <p>[削る]</p> <p><u>4)～5) [略]</u></p> <p>(2)～(4) [略]</p> <p>【補正適用表】 [略]</p>	<p>別 紙</p> <p>設計業務標準歩掛</p> <p>1～7 [略]</p> <p>8 積算参考資料作成</p> <p>(1) 適 用</p> <p>1)～2) [略]</p> <p><u>3) 契約方法が、設計業務を実施した受注者を含む指名競争による契約とする場合は、5 施工計画書作成の歩掛欄の技師Aを0.4とする。</u></p> <p><u>4) 積算参考資料作成業務と実施設計業務を一括して発注する場合、上記3)により補正し、さらに実施設計作業と重複する積算参考資料作成業務の作業項目については、1/2に歩掛の補正を行う。</u></p> <p><u>5)～6) [略]</u></p> <p>(2)～(4) [略]</p> <p>【補正適用表】 [略]</p>

(別紙) 測量業務等の機械経費について (平成 13 年 3 月 29 日付け 12 農振第 1975 号農林水産省農村振興局長通知) 一部改正新旧対照表

(下線の部分は改正部分)

改 正 後						現 行					
別 紙						別 紙					
1 測量機械等損料						1 測量機械等損料					
番号	機 械 名	規 格	損料額	単 位	摘 要	番号	機 械 名	規 格	損料額	単 位	摘 要
1	レ ベ ル	[略]	<u>9,650</u>	[略]	[略]	1	レ ベ ル	[略]	<u>8,040</u>	[略]	[略]
2	〃	[略]	<u>5,340</u>	[略]	[略]	2	〃	[略]	<u>4,450</u>	[略]	[略]
3	〃	[略]	<u>2,100</u>	[略]	[略]	3	〃	[略]	<u>1,750</u>	[略]	[略]
4	水準測量作業用電卓		<u>1,820</u>	[略]	[略]	4	水準測量作業用電卓		<u>1,520</u>	[略]	[略]
5	トータルステーション	[略]	<u>9,050</u>	[略]		5	トータルステーション	[略]	<u>7,540</u>	[略]	
6	〃	[略]	<u>4,980</u>	[略]		6	〃	[略]	<u>5,020</u>	[略]	
7	〃	[略]	<u>2,800</u>	[略]		7	〃	[略]	<u>2,330</u>	[略]	
8	パーソナルコンピュータ	[略]	<u>500</u>	[略]		8	パーソナルコンピュータ	[略]	<u>420</u>	[略]	
9	座標展開機	[略]	[略]	[略]	[略]	9	座標展開機	[略]	[略]	[略]	[略]
10	自動製図機	[略]	<u>1,920</u>	[略]	[略]	10	自動製図機	[略]	<u>1,370</u>	[略]	[略]
11	図形編集装置	[略]	<u>3,400</u>	[略]		11	図形編集装置	[略]	<u>3,090</u>	[略]	
12	カラー静電プロッター	[略]	[略]	[略]	[略]	12	カラー静電プロッター	[略]	[略]	[略]	[略]
13	デジタイザ	[略]	<u>1,270</u>	[略]	[略]	13	デジタイザ	[略]	<u>910</u>	[略]	[略]
14	G N S S 測量機	[略]	<u>9,650</u>	[略]		14	G N S S 測量機	[略]	<u>8,040</u>	[略]	
15	〃	[略]	<u>5,580</u>	[略]		15	〃	[略]	<u>4,850</u>	[略]	
16	パーソナルコンピュータ	[略]	<u>360</u>	[略]		16	パーソナルコンピュータ	[略]	<u>320</u>	[略]	
17	G N S S 解析用計算機		<u>4,120</u>	[略]	[略]	17	G N S S 解析用計算機		<u>3,430</u>	[略]	[略]
2 記録映像製作機械等損料 [略]						2 記録映像製作機械等損料 [略]					

(別紙) 設計業務等の積算参考歩掛について (平成13年3月29日付け12農振第1977号農林水産省農村振興局整備部長通知) 一部改正新旧対照表

(下線の部分は改正部分)

改正後	現 行
<p data-bbox="181 373 246 405">別紙</p> <p data-bbox="647 415 1012 447">設計業務等の積算参考歩掛</p> <p data-bbox="181 506 759 537">第1 設計業務等の積算参考歩掛の取扱い</p> <p data-bbox="231 600 1433 674">本積算参考歩掛は、調査事例が少ない等の理由により、今後引き続き事例収集に努める歩掛として整理したものであり、当該業務の内容及び条件等を十分に確認して適用すべき歩掛である。</p> <p data-bbox="231 688 1433 810">なお、上記により本歩掛を適用して積算した場合は、当該業務において、妥当性を検証するための実態調査を別紙に定める様式1により行うものとする <u>が</u>、「第2 設計業務積算参考歩掛」における「10-7 橋梁～10-14 法面工」についてはこれの対象外とする。</p> <p data-bbox="219 957 427 989">【様式1】 [略]</p>	<p data-bbox="1492 373 1558 405">別紙</p> <p data-bbox="1952 415 2318 447">設計業務等の積算参考歩掛</p> <p data-bbox="1492 506 2071 537">第1 設計業務等の積算参考歩掛の取扱い</p> <p data-bbox="1543 600 2745 674">本積算参考歩掛は、調査事例が少ない等の理由により、今後引き続き事例収集に努める歩掛として整理したものであり、当該業務の内容及び条件等を十分に確認して適用すべき歩掛である。</p> <p data-bbox="1543 688 2745 894">なお、上記により本歩掛を適用して積算した場合は、当該業務において、妥当性を検証するための実態調査を別紙に定める様式1により行うものとする。<u>また業務担当者は、業務完了年度の翌年度4月末日までに各地方農政局土地改良技術事務所業務積算基準担当者あてに特別仕様書、積算書、積算資料と併せて報告するものとする。なお</u>、「第2 設計業務積算参考歩掛」における「10-7 橋梁～10-14 法面工」についてはこれの対象外とする。</p> <p data-bbox="1531 957 1739 989">【様式1】 [略]</p>

改正後

現行

第2 設計業務積算参考歩掛

1～6 [略]

7 ほ場整備

- (1) [略]
- (2) 全体補正
  - 1)～6) [略]

7) 留意事項

設計面積の補正及び距離の補正において、nは小数点第2位四捨五入、第1位止まりとする。

[以下略]

8 畑地かんがい施設

- (1) [略]
- (2) 全体補正
  - 1)～5) [略]

6) 留意事項

設計面積の補正及び距離の補正において、nは小数点第2位四捨五入、第1位止まりとする。

[以下略]

9 営農飲雑用水施設

- (1) [略]
- (2) 全体補正
  - 1)～2) [略]
  - 3) 設計 給水量 の補正  
[中略]
  - 4)～6) [略]

7) 留意事項

設計給水量の補正、配水池容量の補正及び距離の補正において、nは小数点第2位四捨五入、第1位止まりとする。

[以下略]

第2 設計業務積算参考歩掛

1～6 [略]

7 ほ場整備

- (1) [略]
- (2) 全体補正
  - 1)～6) [略]

[新設]

[以下略]

8 畑地かんがい施設

- (1) [略]
- (2) 全体補正
  - 1)～5) [略]

[新設]

[以下略]

9 営農飲雑用水施設

- (1) [略]
- (2) 全体補正
  - 1)～2) [略]
  - 3) 設計 面積 の補正  
[中略]
  - 4)～6) [略]

[新設]

[以下略]

改正後

基本設 作業 項目	【9-1 営農飲雑用水施設】 作業内容	歩掛 基準 (単位)	歩掛					特記事項及び 補正
			技 師 長	主 任 技 師	技 師 A	技 師 B	技 師 C	
[略]	[略]	[略]	[略]					[略]

現行

基本設 作業 項目	【9-1 営農飲雑用水施設】 作業内容	歩掛 基準 (単位)	歩掛					特記事項及び 補正
			技 師 長	主 任 技 師	技 師 A	技 師 B	技 師 C	
[略]	[略]	[略]	[略]					[略]

【補正適用表】【基本設計】

作業項目	補正項目	難易度 補正	設計給水量 補正	配水池容量 補正	距離 補正	箇所数 補正
1 現地調査						
1-1 現地踏査		○	○			
1-2 給水施設計画調査		○	○			
1-3 水源量調査		○				
1-4 資料収集		○				
1-5 資料の検討		○				
2 施設計画						
2-1 給水量		○	○			
2-2 基本構想の策定		○	○			
2-3 基本計画		○	○			
3 取水施設設計						
3-1 構造図作成		○				○
3-2 数量計算		○				○
4 導水施設設計						
4-1 設計図作成		○			○	
4-2 数量計算		○			○	
5 浄水施設設計						
5-1 施設規模の検討		○				○
5-2 設計図作成		○				○
5-3 数量計算		○				○
6 送水管路施設設計						
6-1 設計図作成		○			○	
6-2 数量計算		○			○	
7 加圧ポンプ場施設設計						
7-1 設計図作成		○		○		
7-2 数量計算		○		○		
8 配水池施設設計						
8-1 設計図作成		○		○		
8-2 数量計算		○		○		
9 配水管路施設設計						
9-1 設計図作成		○			○	
9-2 数量計算		○			○	
10 水管橋設計						

【補正適用表】【基本設計】

作業項目	補正項目	難易度 補正	設計面積 補正	配水池容量 補正	距離 補正	箇所数 補正
1 現地調査						
1-1 現地踏査		○	○			
1-2 給水施設計画調査		○	○			
1-3 水源量調査		○				
1-4 資料収集		○				
1-5 資料の検討		○				
2 施設計画						
2-1 給水量		○	○			
2-2 基本構想の策定		○	○			
2-3 基本計画		○	○			
3 取水施設設計						
3-1 構造図作成		○				○
3-2 数量計算		○				○
4 導水施設設計						
4-1 設計図作成		○			○	
4-2 数量計算		○			○	
5 浄水施設設計						
5-1 施設規模の検討		○				○
5-2 設計図作成		○				○
5-3 数量計算		○				○
6 送水管路施設設計						
6-1 設計図作成		○			○	
6-2 数量計算		○			○	
7 加圧ポンプ場施設設計						
7-1 設計図作成		○		○		
7-2 数量計算		○		○		
8 配水池施設設計						
8-1 設計図作成		○		○		
8-2 数量計算		○		○		
9 配水管路施設設計						
9-1 設計図作成		○			○	
9-2 数量計算		○			○	
10 水管橋設計						

改正後

10-1 設計図作成	○				○
10-2 数量計算	○				○
11 施工計画	○				
12 工事費積算	○				
13 点検取りまとめ	○	○			

実施 作業 項目	【9-2 営農飲雑用水施設】 作業内容	歩掛 基準 (単位)	歩掛					特記事項及び 補正
			技 師 長	主 任 技 師	技 師 A	技 師 B	技 師 C	
[略]	[略]	[略]	[略]					[略]

【補正適用表】 [実施設計]

作業項目	補正項目	難易度 補正	設計給水量 補正	配水池容量 補正	距離 補正	箇所数 補正
1 現地調査						
1-1	現地踏査	○	○			
1-2	給水施設計画調査	○				
1-3	水源量調査	○				
1-4	資料収集	○				
1-5	資料の検討	○	○			
2 施設計画						
2-1	給水量	○				
2-2	基本構想の策定	○				
2-3	基本計画	○	○			
3 取水施設設計						
3-1	構造図作成	○				○
3-2	数量計算	○				○
4 導水施設設計						
4-1	設計図作成	○			○	
4-2	数量計算	○			○	
5 浄水施設設計						
5-1	施設規模の検討	○				○
5-2	設計図作成	○				○
5-3	数量計算	○				○
6 送水管路施設設計						
6-1	設計図作成	○			○	
6-2	数量計算	○			○	
7 加圧ポンプ場施設設計						
7-1	設計図作成	○		○		
7-2	数量計算	○		○		
8 配水池施設設計						

現 行

10-1 設計図作成	○				○
10-2 数量計算	○				○
11 施工計画	○				
12 工事費積算	○				
13 点検取りまとめ	○	○			

実施 作業 項目	【9-2 営農飲雑用水施設】 作業内容	歩掛 基準 (単位)	歩掛					特記事項及び 補正
			技 師 長	主 任 技 師	技 師 A	技 師 B	技 師 C	
[略]	[略]	[略]	[略]					[略]

【補正適用表】 [実施設計]

作業項目	補正項目	難易度 補正	設計面積 補正	配水池容量 補正	距離 補正	箇所数 補正
1 現地調査						
1-1	現地踏査	○	○			
1-2	給水施設計画調査	○				
1-3	水源量調査	○				
1-4	資料収集	○				
1-5	資料の検討	○	○			
2 施設計画						
2-1	給水量	○				
2-2	基本構想の策定	○				
2-3	基本計画	○	○			
3 取水施設設計						
3-1	構造図作成	○				○
3-2	数量計算	○				○
4 導水施設設計						
4-1	設計図作成	○			○	
4-2	数量計算	○			○	
5 浄水施設設計						
5-1	施設規模の検討	○				○
5-2	設計図作成	○				○
5-3	数量計算	○				○
6 送水管路施設設計						
6-1	設計図作成	○			○	
6-2	数量計算	○			○	
7 加圧ポンプ場施設設計						
7-1	設計図作成	○		○		
7-2	数量計算	○		○		
8 配水池施設設計						

改正後						現行					
8-1 設計図作成	○		○			8-1 設計図作成	○		○		
8-2 数量計算	○		○			8-2 数量計算	○		○		
9 配水管路施設設計						9 配水管路施設設計					
9-1 設計図作成	○			○		9-1 設計図作成	○			○	
9-2 数量計算	○			○		9-2 数量計算	○			○	
10 水管橋設計						10 水管橋設計					
10-1 設計図作成	○				○	10-1 設計図作成	○				○
10-2 数量計算	○				○	10-2 数量計算	○				○
11 施工計画	○					11 施工計画	○				
12 工事費積算	○					12 工事費積算	○				
13 点検取りまとめ	○	○				13 点検取りまとめ	○	○			
10~12 [略]						10~12 [略]					

改 正 後	現 行
<p>第1 機能診断業務積算参考歩掛の取扱い</p> <p>本積算参考歩掛は、調査事例が少ない等の理由により、今後引き続き事例収集に努める歩掛として整理したものであり、当該業務の内容及び条件等を十分に確認して適用すべき歩掛である。</p> <p>なお、上記により本歩掛を適用して積算した場合は、当該業務において、妥当性を検証するための実態調査を別紙に定める様式1により行うものとする。</p> <p>第2～第6 [略]</p>	<p>第1 機能診断業務積算参考歩掛の取扱い</p> <p>本積算参考歩掛は、調査事例が少ない等の理由により、今後引き続き事例収集に努める歩掛として整理したものであり、当該業務の内容及び条件等を十分に確認して適用すべき歩掛である。</p> <p>なお、上記により本歩掛を適用して積算した場合は、当該業務において、妥当性を検証するための実態調査を別紙に定める様式1により行うものとする。<u>また業務担当者は、業務完了年度の翌年度4月末日までに各地方農政局土地改良技術事務所業務積算基準担当者あてに特別仕様書、積算書、積算資料と併せて報告するものとする。</u></p> <p>第2～第6 [略]</p>